

大^{だい}学^{がく}対^{たい}抗^ままんが論^{ろん}



「大学生がまんがを読む」——今日それはなんの不思議でもない。彼等こそ、「鉄腕アトム」で育ったまんが世代のトップバッターなのだから。彼等の読書習慣では、まんがはマルクスやサルトルの著作と並列し、まん研では、まんが家のたまごたちが続々と成長しつつあるのが現状だ。——今回はその代表選手たちに意見を聞いてみた。

尾崎 今月は、愛読

者であると同時に

将来まんが家を志

望されている大学

生のみなさん方の

意見をきかせてい

ただくわけですが

まず、各大学の「ま

んが研究会」のよ

うすからお話して

ください。

小林 ぼくは自分ではかいていないけ

ど、まんがに興味をもっている。英

雄的にではなく庶民がうたいあげる

ものが、まんがだと思っている。ほ

く個人が好きなのはフランス・ジ

ヤム的なおかしみのあるものだ。東

大には「まん研」があります。ぼく

ははいっていないけど。しかし、ま

んがのありかたを追求していくのは

大きなことばえば、文化の発展

につながるものだと思います。

広田 私は早稲田ですが、今のまん

がは、すべてナンセンスではかばか

しい。好きなものはほとんどない。

まあ、白土まんがの心に残るものが

おもしろいと思うくらいだ。だから

自分でかいて楽しんでます。

伊谷 ぼくは映画の方をやっている。

しかし、ぼくらの世代はまんが全盛

時代の中で成長したので、まんがと

は切っても切れない間柄にあると思

うんです。

娯楽と実験的作品

熊田 ぼくたちはまんがをかいていま

すが、この座談会では児童まんがに

焦点をしばっているわけですね。そ

れなら目的はきまっています。商業

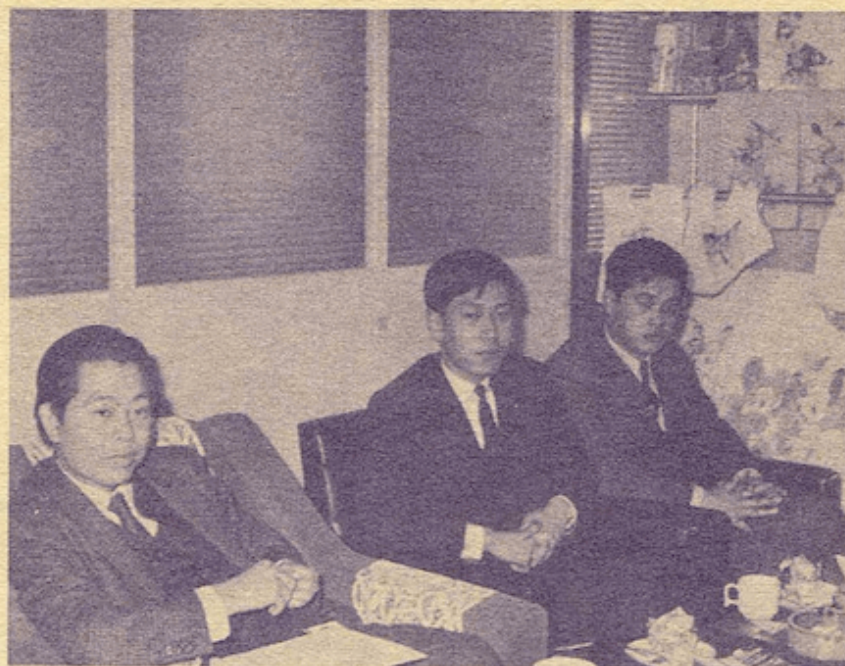
ベースにのせるため娯楽に徹すべき



まんが評論家として活躍する尾崎氏

だと思っています。
たしかに最近のまんがブームによつてまんがの地位は高められました。が、文学には匹敵できない。そこに限界があるのじゃないかと思ひます。つまり、娯楽に徹していないと、子供にうけない。

奥田 ちよつと宣伝になります。まず慶応まんがクラブから紹介させていただきます。うちのクラブは、まんがによつてユーモアやベロソスを育て、各人の人格を高め、りっぱな日本人になるという主旨で集まっています（照れくさそうな笑い）具体的には各人がかいたまんがを、みんなで批評し、よいところをの



出席者 (写真向かって右より)

中央大学	熊田正史
国学院大学	伊谷知二
早稲田大学	広田健次
東京大学	小林史典
明治大学	福岡正平
慶応大学	奥田耕嗣

司会 尾崎秀樹

なら、それを引き

上げる努力をすべ

きです。せつかく

「まんがブーム」

といわれ、まんが

に对する関心が強

まっている時機で

すから「うければ

よい」だけでなく

よい作品をかくこ

ばす仕組みです。

「個人は小学校の一年のとき、

夢野凡天の『エンピツピーちゃん』

を見て、感激して、まんが家になろ

うと、ずつとかいています。

まんがをかいて自分で楽しみ、そ

れを見せて、人に楽しみを与えよう

うというわけです。

尾崎 大学における「まん研」の活躍

ぶりがでましたが、自分でまんがを

かいている方、かいていない方でも



新人は、すぐ流行にとびつく。

現在のまんがのありかた、機能について、たいへん積極的のようです。では、ブームといわれる現代のまんがについて、もう少しつつこんでみたいと思いますが……。

伊谷 ぼくらの小学生のころから見ると、現在のまんがには個性がなくなっている。むかしはまんが家一人

一人の世界があつたが、今は、たと

えばSFが流行すれば、みんなその

パターンの中で満足しているようだ

尾崎 オリジナリティとか主体性がな

くなって、まんがが亜流化されてい

るといふのですね。伊谷さんが、こ

れこそ「まんが」だというのは、ど

ういうものですか。

伊谷 ……（しばらく考えて）やはり

手塚まんがですね。作家のビジョン

とか未来感が感じられるから……。

「パンバイヤ」の中で、作者が作品の

中に登場しているのは、作者がいかに

にマンネリからぬけだそうとしてい

るか、苦悩の姿勢じゃないですか。

それに石森章太郎の実験を買いいます

今までのカラの中にとじこもってい

ないで、意欲的に新しい試みをする

まんが家こそ、真のまんがをつくり

だすと、ぼくは思いますね。

作家の主体性とマスコミ

熊田 まんが家の数は多いが、そうした意欲的な人は少ない。一つの流行が生まれるとワットとみんなが飛びつく。食うためにまんがをかいているのだから、売れないまんがはかけない。売るためには人のまねをするんだ。だらしがないと思う。

福岡 たしかに怪獣ブームだ、やれ宇宙ブームだといって、同じようなまんが多い。しかし、これは編集部からの注文によつてかかされるケースも多いのじゃないか。

商業ベースだけが感じられて、まんが家が感じられない。今の少年は目が高いから、同じようなストーリー、似たような登場人物では、結局はあきられてしまうものだ。

尾崎 マスコミの中でまんが家の個性がゆがめられ、主体性がなくなる。つまり娯楽だけを追っている、みずからの墓穴を掘るのに似ているわけですね。作品の中に何かがなくてはならない。

福岡 そうです。読んだあとになにに心に残るものが欲しい。これは作家的良心に期待するしか、ないと思

ますが……。伊谷 しかし、水木しげるが怪奇ものをかいていますが、SFまんがにあきたらなくなった読者が、前近代的なものを要求している、そうした社会の風潮にびつたりあって人気が出たと思います。

怪獣ブームにしろ、その裏に同じような社会的条件があるでしょう。



S・Fがあきられ、怪奇まんが誕生。

奥田 ぼくは、今のまんが家は、まんが屋だと思ふ。まんが家の資格は余裕があるかないかできめたい。その余裕というのは、たんに時間的余裕でなく、自分の主張をいつも見つけているか、どうかです。別ないいかなら、常に勉強しているか、いいかです。

尾崎 作者がかかすにはいられないという態度で、主題と

いうか、モチーフを作品にぶっつけて読者に訴える、そういうオリジナルな作品は、われわれの心をとらえるが、やがてその作者もマンネリにおちいつていく。

熊田 結局マスコミに殺されてしまふわけですね

尾崎 ええ……しかし、マスコミの中で作家が主体性を失っていくのは、何もマスコミだけの責任ではありません。それを取り越えていくだけの強い自分、つまり才能を持ったなかつた作家自身の責任でもあるのです。

小林 大切なのは、まんがの中に詩のイメージがあるか、どうかじゃないですか。作家自身イメージをかきたてるものを持っている、そういうのが読者に伝わってくる。この例は少しちがうかもしれませんが、園山俊二が西部劇の場面の中で、「ここでは歌をうたいながら見て……」など、立体的な手法を使っていたが、あ

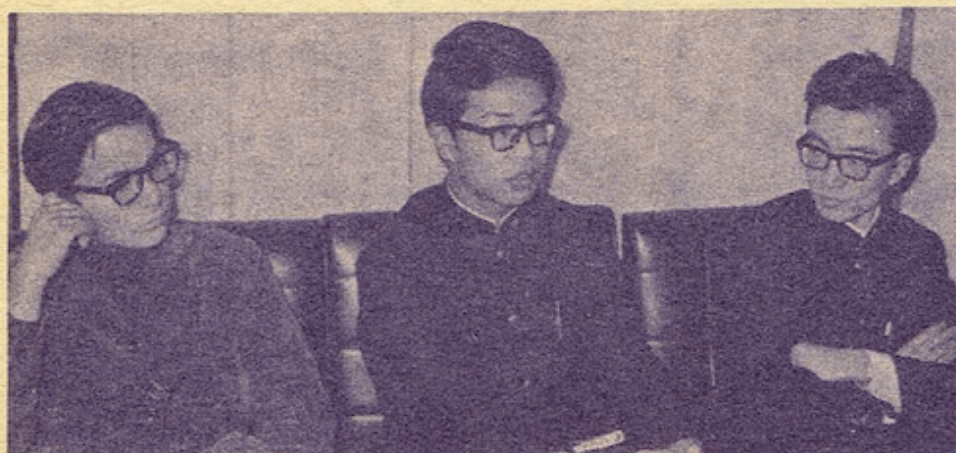
商業ベースにのせるのがまんが家の目的



へ熊田

あいう試みはよいですね。

尾崎 今までのまんが界は、よいものをつくるために、手さぐりで無意識のもとにやってきた状態だ。だが今は、一方でブームになり、一方で空洞がある。それではまんが家がどうやって勉強したらよいのか、いつまでたつてもわからない。まんがが自立した地位に立った現在こそ、ワイドの目をもつて、ありかた、機能効用などを論じる必要がある。昔の子供たちはまんがを卒業して活字にはいったが、今はそういうプロセスは考えられなくなった。まんがを見ながら大学生になり、社会人になっていく。スタンダードではないが、彼は生きた、まんがを読んだ、そ



ぼくらはまんがの中で成長した。
〈小林、広田、伊谷〉



まんがは目で見える活字、頭は……。

して死んだ」という時代だ。まんがの存在はそれだけ大きな意味を持っていますね。

小林 短歌だとか俳句、川柳などは文字は少ないが、ほう大なイメージが感じられる。それと同じように、目で見える活字としてのまんがの効用はすばらしいと思う。

熊田 子供は、まんがや童話を読んで成長していく。童画の場合、武井武雄のように、実にいいに誠心こめてかいているが、その点、まんがのほうは無責任なものが多々と思う。とくにプロダクション形式というのですか、一人の作家のものを大勢のアシスタントが、スミ線を入れたり、ベタつぶしをしたり、ひどいときはキャプション（ことば）まで代作する。分業システムかもしれないが、これでは自分の作品に責任を感じていないと思えない。

総合芸術としての個性

奥田 まんがの企業化、ぼくは結構だと思う。まんがは総合

芸術のジャンルにはいると考えてもいいじゃないですか。映画と同じですよ。映画は分業システムでやっているけど、作品の出来不出来は、最終的には監督の力でしょう。ぼくはまんがの分業システムは認めてもいいと思う。

熊田 アニメーションなら話は別ですが、しかし、雑誌に発表されるまんがが代作によってでき上がるというのはいただけない。作品の質はぐつと落ちますよ。

尾崎 たしかに完全な代作の場合は、

そういえるでしょう。しかし、まんが家がアシスタントを使って作品をかくのは、そうしなければ、とてもマスコミの要求には応じきれないといった現代的な条件があることも、ある程度は認めてやる必要があると思います。

つまり、分業システムをとり、企業化せざるを得ないものがあるということですね。それに、まんがは活字とちがって映像が主体です。その意味では映画に近く、総合芸術として将来は考えられるかもしれませんね。

広田 総合芸術の場合は、作家個人というよりも、そのグループとし

ての個性というか、パーソナリティが問題になってくるでしょう。

尾崎 そうです。その通りです。企業化するあまり、その総合芸術としてのパーソナリティさえ失い、ただ商品製造にやっきになるのは問題です。

広田 その不満が、今の児童まんがには、かなりあるんです。プロダクション形式になっても、よい作品さえできれば問題ないんですが……。

伊谷 白土さんの作品は、そうした意味でも、何か作者の主張が感じられて心に残りますね。

奥田 ぼくはそのことで、ちょっといいたいことがあるのです。たとえば「忍者武芸帳」、あれを作者は、歴史の教科書にしてもらうつもりで書いたのではないと思う。唯物史観があるといっても、読者の多くはアケミと重太郎の淡い恋心というか、そういうったロマンにひかれて読んだ人も多いんじゃないですか。

伊谷 しかし、唯物史観があることもたしかでしょう。よくあそこまで取り入れたと思いますよ。

小林 しかし、そうした作者の主張がないまんがは、よい作品じゃないというのは独断だな。

福岡 ぼくは、白土まんがの中に出て



つげ義春の作品はすばらしい。〈榎岡、奥田〉

くる、あとがきというか、活字の部分がきらいだ。まんが家は絵とキャプションだけで表現すべきで、そうするのが義務だと思う。それで読者がわかってくれなければ、作者が未熟なのです。まんが家はまんが以外には発言せず、まんがで勝負すべきですよ。

尾崎 では、その理想のまんがのサンブルはどんなものですか？

青春まんがの問題点

榎岡 あまりびったりくるものはありませんが、永島慎二、つげ義春あた

りが好きです。

伊谷 しかし、同じ青春まんがでもいろいろありますね。たとえば「COM

三号」のみやわき心太郎の「つくしんぼ」、あれと永島慎二の「青春裁判」、同じ青春ものでも全然ちがいます。

「つくしんぼ」は、都会の中学・高校生には受けるかもしれませんが、ほかたちには、テレビのホーム・ドラマみたいで物足りない。きれいごとすぎますよ。

ほかのように、いなかから出てきて、三疊の下宿に生活している者には、ほど遠い世界です。ほかたちが直面している青春は、やはり永島氏の

このように残酷で、もつと厳しいものだと思います。ほかは「青春裁判」の方をとりますね

尾崎 でも、「つくしんぼ」の方がいいという読者も多いでしょう。まんがは、読者の年齢、個人差などで、ずいぶん感じ方がちがってくると思いますね。

「つくしんぼ」の軽いタッチやムードが好きな読者もあって当然で、たしかに中学や高校生には受けそうなまんがですね。

奥田 青春ものといえば、つげ義

寸評

尾崎秀樹

まんが家を志望する者は多いが、なぜまんがでなければいけないのか、というぎりぎりに煮つめた実感が意外にうすい。つまり自己表現の手段としてまんがをえらぶ必然性がとぼしいのだ。

これはまんが家にかぎらず、作家志望の人たち一般にいえることだが、内的な必然性もなく、ただなんとなくカッコいいからとか、金になるからとか、物まねがうまいからというだけでは、サマにならない。

なぜまんがをかくのか——というところの支えを、まず第一たしかめてもらいたい。この野心なことがあるすになって、ふわふわと流行につられて行くのではこまる。

もともと、まんががまんがであるためには、大前提として、まんがのおもしろさを身につけなくてはいけない。その表現の技術は、基本的な小説のようなものである。

しかしそれと同時に、作家はその技法を支えるところを持たなくちゃいけない。仏つくつて魂いれず——式のまんががはらんしているのを見るにつけ、せめて、大学のまん研グループや、まんが家志望の人たちが、なぜまんがを必要とするのかをもう一步ふかいところで考えることをやってほしいのだ。

「そこにまんががあるから」なんて茶化さないでもらいたい。まんがは在る——のではなくて創り出すものなのである。どのようなマスコミ状況も、この個性的な営みをつぶすことはできない。

春の作品もすばらしいですね。これは青春ものではないですけど、「ガロ」三月号につげさんがかいている「通夜」という作品、これにはほんとと感心しました。

三人の旅人が、夜、一軒屋をたずねましてね、泊めてくれというのと、死人といっしょに寝るならというわけ

三人はそれでも平気で泊まるわけですが、ゆかいですよ。そのユーモアのおもしろさ、まるで俳諧の境地のような作品です。

広田 さっきの青春もののつづきです

が、今の中学生あたりは、詩集なんかを盛んに読むそうです。どこかで恋愛ものなものを求めているわけですね。そうした気持が、まんがでも今までのアクションものではあきたらなくなつて、青春ものを求めさすんじゃないですか……。

伊谷 そのいきすぎも困りますね。児童まんがでは、やはりセックス描写はさけるべきですよ。

尾崎 なるほど……。せっかく作品論まで出て活発になりましたが、本日はこれで。どうも、ありがとう。